



臨時号
令和2年3月2日
練馬区立上石神井小学校
校長 井口 洋

「上石神井小学校の教育についてのアンケート」のまとめ

日頃より、本校の教育活動に御理解と御支援をいただき感謝いたします。御協力いただいた「上石神井小学校の教育についてのアンケート」の結果をまとめましたのでお知らせします。

アンケートの結果やいただいた御意見・御要望については、来年度以降の本校の教育の改善のために生かしてまいります。

- 1 保護者アンケート実施期間 令和元年11月15日～11月26日
- 2 方法 全児童729名(11月中旬現在)に配布、無記名、各学年前廊下の箱に投函
- 3 回答 611通(回収率84%)
- 4 評価
児童アンケート：A とてもそう思う B まあまあそう思う C あまり思わない D 思わない
保護者アンケート：A 大いにそう思う B そう思う C あまりそう思わない D そう思わない E 分からない

5 保護者アンケートの結果

(1) 評価集計(回答数と各評価の合計が若干違っている項目があります)

	保護者アンケート項目	A	B	C	D	E
1	上石小の教育方針に共感できる。	17%	66%	5%	1%	12%
2	上石小の教員は、自分の子供を理解し、適切に指導している。	21	62	7	3	8
3	上石小の教員は、分かりやすい授業をして子供のやる気を引き出している。	16	58	11	3	12
4	上石小の教員は、子供の学力や頑張りを適切・公平に評価している。	16	63	6	2	12
5	自分の家の子供は、学校の勉強にしっかり取り組んでいる。	18	60	18	4	1
6	自分の子供は本をたくさん読んでいます。	16	21	36	26	1
7	自分の家の子供は、学校に行くのが楽しいと言っている。	28	52	14	4	2
8	自分の家の子供は、いじめられたり仲間外れにされたりしていません。	21	59	8	5	7
9	上石小は、いじめや暴力などを見逃すことなく適切に指導している。	7	43	12	4	34
10	自分の家の子供は、規則正しい生活を送っている。	21	56	18	4	1
11	自分の家の子供は、毎日朝ごはんを食べて学校に行っている。	71	24	3	1	1
12	自分の家の子供は「おはよう」「おやすみなさい」など、家でもきちんと挨拶をする。	45	42	10	2	1
13	上石小の学校行事は、子供たちの成長の場になっている。	41	54	2	1	2
14	上石小は、たて割り班活動などを通して、子供同士のかかわりを深め、思いやりの心をはぐくんでいる。	27	57	6	1	9
15	学校へ行った時、上石小の子供たちはきちんと挨拶をしている。	7	33	40	13	6
16	上石小は、掃除や整備が行き届いている。	10	54	22	6	8
17	上石小は、学校公開、保護者会、学校だより、校長だより、学年・学級だよりなどを通して、学校のことや子供たちの様子を分かりやすく伝えている。	18	66	9	3	4
18	上石小の子供たちは、地域の中で危ない行動をしたり、人に迷惑をかけたりにしないで遊んでいる。	6	36	28	7	23

(2) 意見・要望等

記述する欄には、たくさんの御意見・御要望をいただきました。紙面の都合上、ここでは主に全体に関わるものを紹介します。また、同様の意見は1つにまとめたり、長い記述の中から一部分を抜粋したり、御意見の趣旨は変わらないように留意しながら表現を一部変えたりして掲載します。

【学習指導関係】

○カタカナのテストを5回、6回と何度も実施していただいたので、随分覚えた。

○授業が工夫されている。

○クラスによって、教員のスキル(ベテランだから高いとは限りません)に差を感じ、子供の学習意欲に差があるように感じる。

○人数が多いので、大変なことは重々承知していますが、少人数性が良いとされる今、1人1人に合った授業、指導、そして1人1人よく見ていただけたら大変うれしい。

○上小は他の練馬区の学校と比べて宿題量が多いように感じる。

○漢字検定をやってほしい。

【学校生活】

○かたくりに通って四年になるが、友達から嫌な言葉をかけられることが今までに一度もなく嬉しい。

○教員や保護者の目の届かないところでの子供同士の小さな争いを未然に防ぐ、または自分たちで解決できるような教育を継続してほしい。

○ランドセルが重いため、子供の身体的負担を考えてほしい。学期の始めは小分けにできればよい。

○宿題・持ち物なども、口頭ではなく黒板に書いておく、など「高学年だから大丈夫」ではなく、子供たちに指導するだけでなく、どのように自主的に動いてくれるか、などを考えながら指導して頂きたい。

【挨拶・言葉遣い】

○特に低学年の子供たちはよく挨拶をしてくれるので、小学校での指導が行き届いていると感じる。

○どの学年も挨拶があまりできていない。家庭でも学校でも指導すべきである。登校班で、朝、気持ちよく会えるようになれば良いと思う。登下校の旗振りをしてくださっている方へ挨拶しない子供が多いように感じる。

○高学年・中学年の子供たちの言葉遣いが、これまで感じない程だったが、年々悪くなっている様に感じる。目上の人や大人に対する言葉遣いに対して、家庭だけでなく学校でも指導してほしい。

○人をからかう言動が多い。厳しく指導してほしい。

【掃除・施設整備】

○トイレが綺麗になってよかった。

○花壇や敷地内の草取り、トイレ等きれいになり、用務主事さんに感謝している。

○ゴキブリが多い。全体的に駆除してほしい。

○安全パトロールで校内を巡るときに、箒でゴミを掃除したい。

【情報発信】

○夏休みのプール指導時に、中止のマメールが適切に活用されていない。ホームページを活用してほしい。

○配布の手紙が多い。

【登下校】

○登下校時に、踏切で危ないと感じる児童がいる。引き続き注意していきたい。

○下校の際に道路に広がるなど危険な場面を目にするので、学校の責任ではないが、家庭と連携でより安全指導を徹底すべきと思う。

【学校公開】

○学校公開で教室に展示されている日々の学習の成果や作品を目にすると、日々の授業や学びの成果を確認することができ、とてもありがたい。いつもいろいろと工夫しながら授業、教育を行っていただき感謝している。

○学校公開の案内プリントがほしい。

- 学校公開では、クラス全体の生徒に気にかけて、声をかけながら授業を進められていると思い、感心している。クラスによっても様子が違うようだが、娘のクラスでは、きちんと皆をまとめられていてありがたいと思う。
- 学校公開の日の持ち物に迷ってしまうときがある。（学年だよりに記入がないときなど）。
- 学校公開にほとんど行けないため、学校での具体的な様子が分からない部分がある。平日にも参観日があるとありがたい。

6 アンケートの結果から（肯定的な回答：A B 否定的な回答：C D E）

(1) 評価の集計結果と考察

【教育方針】

「大いにそう思う」「そう思う」という意見は、概ね上小の教育方針には共感できる数値であり、「地域に密着した行事やイベントが多く、地域の様子を知ることができ、子供にとっても保護者にとっても安心して過ごすことができるので通わせて良かったと感じている」と回答した保護者がいる一方で、数値は一昨年度から減少が続いている。保護者への周知方法をより十分に行っていく必要がある。

【学習指導】

保護者用アンケート Q3「上石小の教員は分かりやすい授業をして、子供のやる気を引き出している。」では、前年度に比べて「大いにそう思う・そう思う」が合わせて5%減っているのに加えて、「分からない」が5%増えている。児童にあった指導の工夫を全教育活動の中で実施していると理解してもらえるよう保護者会や各種便り、掲示物を通して保護者に学習状況を明確に知らせていく。その一方で、児童用アンケート Q2「担任や専科の先生は、勉強を分かりやすく教えてくれる。」では、前年度に比べて「とてもそう思う」が6%増えていることから、今後も児童にとって学習に適した学習指導と教室環境を整えていく。

【学校生活】

Q6の「学校が楽しい」、Q7の「いじめ・仲間外れはない」の質問では、「とてもそう思う」「そう思う」の割合が、児童・保護者とも昨年度同様約8割となっている。安心して学校生活を送ることができている児童が多いと考えられる。ただし、Q6に対して22%の児童が否定的に捉えている。その原因を分析し、具体策を講じていく。また、保護者アンケートにおいて、Q8「自分の家の子のいじめや仲間はずれ」への対応については肯定的な意見が80%なのに対し、Q7「いじめや暴力に対する上石小の指導」では50%と大きな差が見られた。わが子が実際に困っていないなくても、指導については半数の保護者は不安を感じている。この質問では「分からない」と答えた保護者も34%いる。いじめや暴力に対する本校の取り組みを具体的に保護者に伝え、家庭と学校の連携を強固にしていく必要がある。

【家庭生活】

Q10「規則正しい生活を送っている」と回答した保護者は、昨年度より9%低下した77%だった。Q11「子どもが朝ご飯を食べて学校に行っている」と回答した保護者は、昨年度とほぼ変わらず95%だった。多くの児童も、保護者と同様に回答している。引き続き、早寝早起きなどの基本的な生活習慣への声かけや協力を要請していく。Q12「児童が家で挨拶をきちんとしている」と回答した保護者は87%、児童の91%であるが、Q15「上小の子供は挨拶している」は40%と回答していることから、認識に差がある。挨拶運動などの活動を通し、学校内外でも自分からすすんで挨拶ができる子を家庭と連携し育成していく。

【特別活動】

Q13「上石小の学校行事は、子供たちの成長の場になっている」Q14「上石小は、たて割り班活動などを通して、子供同士のかかわりを深め、思いやりの心をはぐくんでいる」の回答で「大いにそう思う」「そう思う」がそれぞれ95%、84%と昨年度と同様になっており、学校行事やたてわり班活動が子どもの成長の場になっているため、引き続き指導の充実を図る。しかし、児童アンケートQ13のたてわり班活動では、「とてもそう思う」「そう思う」が72%に留まっており、約3割の児童が否定的な回答をしている。次年度に向けて、子供がより主体的に楽しめる活動を検討し、内容の精選をしていく。保護者Q16では、8割以上の児童が掃除、整頓についてしっかりやっていると認識しているが、保護者は6割強という結果である。しかし、昨年度と比べると、掃除、整備が行き届いているという保護者の回答が1割程度増えている。特に、これまで自由記述に多くの意見が寄せられていたトイレの衛生状態について、改善の声が複数寄せられた。今後も子供にはトイレの使い方の指導を引き続き実施し、用務主事との連携を十分に行っていく。保護者Q17「上石小は、学校公開、保護者会、学校だより、校長だより、学年・学級だよりなどを通して、学校のことや子供たちの様子を分かりやすく伝えている」では8割程度の保護者が、学校のことや子供たちの

様子を分かりやすく伝えていると認識している。一方で、そう思っていない保護者が16%という現実を受け止め、保護者にとって分かりやすい記述や迅速な情報提供を行う。

【地域での遊び方】

危険な行動や迷惑行為をしていないと答えた児童は、「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせて93%であるのに対し保護者は42%と差が生じており、その差は昨年度よりさらに4%広がった。児童は、どのような行為が危険なのか、どんなことをすると人に迷惑がかかるのか認識が不十分であり、自己評価が甘くなっていると考えられる。保護者からは「人の敷地に自転車や荷物を置いたり、つばを吐いたりする子がいる」という児童の問題行動を指摘する声も届いている。学校と家庭、地域が連携を図りながら児童の指導に当たり、地域社会の一員としての規範意識を育む。

(2) 意見・要望から

- ①登下校中のマナーについて多くの意見をいただいているため、根気よく指導を徹底するとともに時期的に発生しやすい危険行動を念頭にいれ、家庭・地域と協力体制をしき改善を図ります。
- ②例年と同様に挨拶をしない児童が多いとの指摘を受け、これまでの取組のほか、児童間でのかかわりの場において高学年が手本となり自然に挨拶ができる学校を目指します。

その他、御意見・御要望につきましてもアンケートの結果とともに、職員会議や関係部署で取り上げ、検討し、今後の学校運営に生かして参ります。

・・

※参考「児童アンケートのまとめ」 実施時児童数 729名、回答数 707名、11月下旬実施
保護者アンケートの内容項目に合わせて、ほぼ同じ内容になっています。

	A とてもそう思う	B そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない	
	児童アンケート項目				
1	先生は、話を聞いてくれ、自分の気持ちをよくわかってくれる。	42%	41%	13%	4%
2	先生は、勉強を分かりやすく教えてくれる。	61	31	7	2
3	先生は、勉強や生活の様子を、よく見てくれている。	50	34	12	4
4	授業中、勉強をしっかりやっている。	47	43	8	2
5	図書館や家にある本をたくさん読んでいる。	42	24	22	11
6	毎日学校に行くのが楽しい。	50	28	13	9
7	いじめられたり、仲間はずれにされたりしていない。	65	18	8	9
8	先生はいじめや暴力などがなくなるようしっかり取り組んでいる。	61	27	8	5
9	早寝早起きを心がけ、きそく正しい生活をしている。	35	36	20	9
10	毎日朝ごはんを食べてから学校へ行く。	83	9	4	4
11	家でも「おはよう」「おやすみなさい」などの挨拶をしている。	70	21	7	3
12	運動会や学芸会などの学校行事への取り組みは楽しい。	60	27	8	5
13	たてわり遊びやたてわり給食などの活動は楽しい。	42	30	18	11
14	学校では、自分からすすんで元気に挨拶をしている。	38	39	17	5
15	掃除や整理せいとんにはしっかり取り組んでいる。	45	38	12	5
16	放課後は、危ないことや人に迷惑をかけることをしないで遊んでいる。	78	15	3	4